

ひまわり

令和7年7月号



↑カラー版はこちらから

『 Before & After 』

校長 門脇 伸也

「 Before & After 」 今年度、大切にしている言葉です。文字通り事前事後の変化を捉えよう。もう一つに、そもそもの意味を捉えよう。というものです。

Before & After その1 「子どもたちの成長から」

例えば、教育内容について、終業式では「学習の記録」を配布します。A4版1枚のペーパーですが、中には2枚の写真とそれを補足するコメントを載せています。普段からたくさん写真や映像を記録として撮り続けています。この厳選した写真には、一瞬の笑顔、動作が写っています。どのように教職員は子どもたちへ働きかけたり、言葉掛けしたりした中で撮れた写真なのか、教員同士の振り返りが出来ました。また、どのような意図で、この写真にしたのか、何を保護者と共有したいのか、今後にどのように生かしたいのか、3か月後、5か月後の姿を念頭に置いて選んだものもあります。

A子さんは、ひらがなを書けるようになり、本を読むことに取り組み始めました。B子さんは、椅子に腰を降ろして、正面を向いて話をしっかり聞けるようになりました。Cさんは、iPadの文字キーを押すと文字の音が出ることから、文章をつくり会話することができるようになりました。

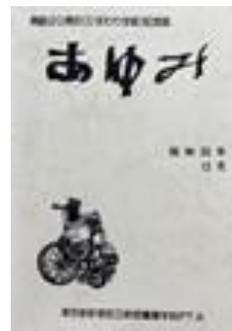
これらのことは、教職員が子どもたちの成長をどのように捉え、「計画を練る」「指導技術を学ぶ」「情報を共有する」かに繋がり、それは2学期、3学期の工夫へと繋がることとなります。

さて、保護者の皆さんはいかかでしょうか。今年の夏休みは、37日間あります。お子様と「こんなことが出来ると嬉しいね」と、「学習の記録」を材料にしてたくさん話し合ってみてください。そして、2学期が始まりましたら、お話されたことお聞かせください。

Before & After その2 「ヒマワリの歌にこめる、やなせ・たかし氏の想い」

先日、例年の鶴巻小学校6年生との交流会がありました。65年前、昭和35年12月5日、本校の小学部の母体となった「ひまわり学級」が鶴巻小学校内に開級されました。そして、昭和41年ごろ、学級歌として歌われていたのが、「手のひらを太陽に」です。やなせ・たかし氏が詩を書いた歌でした。当時、やなせ氏は荒木町にお住まいでした。12月17日、たまたま教員の三ツ木先生がやなせ氏宅を訪れて、この席で、ひまわり学級の学級歌のことが話題になり、ひまわりを主題にした歌が欲しいと申し出ました。やなせ・たかし氏はこの申し出を快く引き受けてくださったそうです。

昭和42年3月28日、やなせ・たかし氏から1通の手紙が届きました。中から原稿用紙に書かれた「ヒマワリの歌」と、録音テープが出てきました。手紙には、ひまわり学級の子どもたちによく分かる詩、歌いやすいように作曲したと書かれていました。作曲は、やなせ・たかし氏が、山崎 唯氏に依頼してできたものです。学級歌から学校歌となった「ヒマワリの歌」は、今でも子どもたちの大好きな歌として歌われています。この内容は、新宿区とやなせ・たかし氏との関係を特別支援学校に視点をおいて、原稿を書きたいと言って新宿区の文化観光産業部の部長・村上京子氏が来校された機会に『開級20周年（ひまわり学級）記念誌の中から見つけ出した文を拝借して、ここに示しました。



※本校敷地内にて撮影



「小学部 1～4 年生 学校間交流」

6月27日に本校にて、小学部1～4年生と西新宿小学校4年生が学校間交流を行いました。最初は緊張していた児童も自己紹介や質問などをしながらお互いのことを話すうちに笑顔が見られてきました。その後は爆弾ゲームやじゃんけん列車などのレクリエーションを楽しみました。爆弾ゲームでは西新宿小の児童と本校の児童が力を合わせてボールをパスし合って白熱したゲームになり、じゃんけん列車の最後はICT機器を駆使してじゃんけんに挑む本校のAさんと西新宿小のBさんとの一騎打ちとなり、7回のあいこを経て、本校児童のAさんが優勝しました！最後は大きな円になって手話を交えながら「にじ」を歌いました。1時間の短い交流ではありましたが、お互いのことを知って共に楽しい時間を共有することができました。



「鶴巻小学校との交流会」

7月8日（火）、本校体育館にて小学部6年生と新宿区立鶴巻小学校6年生の学校間交流を行いました。本校児童による「自己紹介クイズ」や「爆弾ゲーム」、「ポッチャ」などの活動を通して親睦を深めることができました。

交流会が始まる前はお互いに緊張している様子でしたが、自己紹介クイズが始まるとすぐに打ち解けていきました。ポッチャでは、投球後に次の児童にハイタッチをし、お互いを応援する姿がとても素敵でした。会の最後には、皆で「友達になるために」を手話で歌い、鶴巻小学校の児童から手作りのメダルのプレゼントがありました。本校児童は嬉しそうに受け取り、穏やかで温かい雰囲気の中で終わることができました。

次回は、12月15日に鶴巻小学校を会場として2回目の交流会を予定しています。両校の児童の友好をさらに深めていけるように、学校間の連携を大切にしていきます。



「中学部 四谷中学校交流」

6月20日（金）に四谷中学校新苑学級の皆さんと交流会を行いました。今回の交流は、中学部の生徒たちが活動内容をみんなで話し合い、多数決の結果、「ボッチャ」と「ダンス」をすることに決めました。特に、ダンスでは、手話を取り入れた振り付けに挑戦し、何度も練習を重ねてきました。当日は、練習以上に元気いっぱい踊ることができ、新苑学級の皆さんも笑顔でダンスに加わってくれた姿がとても印象的でした。また、ボッチャでは、各チームで作戦を立てる等、両校の生徒が協力し合って、白熱した試合が展開されました。

これらの活動を通して、生徒同士の会話が自然と生まれ、交流が深まっていく場面が多く見られました。また、自分たちで内容や係分担を決めて、準備をしてきたからこそ、充実した交流になったと感じています。

今後もこうした学び合いの機会を大切にしていきます。



「連携」がキーワード

～放課後等デイサービス・事業所連絡会を振り返って～

7月1日（火）、本校にて放課後等デイサービス・事業所連絡会を開催しました。今年度は、「ノーサイド新宿@Leaf 音楽療法センター」「児童発達支援放課後等デイサービスはびねす」「放課後デイサービススリーセブン」「特定非営利活動法人三原色 多機能型重症児デイサービス Patto Potto」「ケアステーションえがお」「障害児訪問支援ナンシー」という6つの事業所より、9名の職員の方が参加されました。来校された皆さんは、日頃、放課後や長期休業日、家庭生活の場面で、子どもたちと深く関わりのある方ばかりでした。学校見学では、国語や算数・数学、音楽などの他に、プールやPT・OTなど、本校の特色となる活動場面も回り、子どもたちがどんな様子で学習しているかを直に見ていただきました。子どもたちの中には、見慣れた来校者に気付いて、手を振ったり笑顔で応えたりしていましたが、全体的に落ち着いて授業に参加していました。見学の中で、直接学校での指導方法を職員の方と引き継ぐ場面も見られ、本連絡会が関係機関と連携できる良い機会になったと感じています。職員の方々からのアンケートでは、「現場の支援が見れて良かった。」や「とても有効なものだと思いますので継続してほしい。」などの御意見をいただいています。次年度に引き継いでいきたいと思ひます。

【学校・家庭・事業所との連携図】



※ 車による送迎サービスを提供している事業所が多くある。